

平成18年度 秋期  
システムアナリスト  
午後Ⅱ 問題

試験時間 14:10 ~ 16:10 (2時間)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
2. この注意事項は、問題冊子の裏表紙に続きます。必ず読んでください。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問1～問3
選択方法	1問選択

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
  - (1) HBの黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
  - (2) 受験番号欄に、受験番号を記入してください。正しく記入されていない場合は、採点されません。
  - (3) 生年月日欄に、受験票に印字されているとおりの生年月日を記入してください。正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
  - (4) 選択した問題については、選択欄の問題番号を○印で囲んでください。

〔問2を選択した場合の例〕

選択欄	問1	○問2	問3
-----	----	-----	----

なお、○印がない場合は、採点の対象になりません。2問以上○印で囲んだ場合は、はじめの1問について採点します。

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。  
こちら側から裏返して、必ず読んでください。

## “論述の対象とする構想，計画又はシステムの概要”の記入方法

論述の対象とする構想，計画又はシステムの概要と，その構想，計画策定又はシステム開発に，あなたがどのような立場・役割でかかわったかについて記入してください。

①～⑮の質問項目に従って，記入項目の中から該当する番号を○印で囲むとともに，（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は，該当するものをすべて○印で囲んでください。

## 問1 情報システム投資の中長期計画の策定について

企業では、情報システム投資の中長期計画の中で、数年間の情報システム投資の優先順位を明らかにする。システムアナリストは、経営戦略を踏まえて、投資すべき分野や配分を検討した上で、各部門から出された情報システム化案件を選別し、経営戦略上不可欠な案件を加味して情報システム投資の中長期計画を策定する。その際、例えば、次のような観点から案件を評価することが重要である。

- ・業務効率向上、在庫削減、納期短縮など、情報システム投資を必要としている経営課題の重要度
- ・法的制度及び社会的制度の変更、セキュリティ対策など、経営環境の変化に対応する情報システム投資の緊急度
- ・情報活用、基盤整備、研究開発など、情報システム投資の戦略性

システムアナリストは、情報システム化案件の重要度、緊急度、戦略性、投資額と期待効果などを総合的に評価して、中長期計画を策定しなければならない。その際、定性的な項目についても客観的な評価ができるように工夫をすることで、経営戦略を踏まえた投資額の妥当性や優先順位の根拠を示すことが重要である。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

**設問ア** あなたが策定に携わった情報システム投資の中長期計画の概要を、背景にある経営戦略とともに、800字以内で述べよ。

**設問イ** 設問アで述べた計画の策定に当たり、経営戦略を踏まえて、情報システム化案件をどのような観点で総合的に評価し、投資額や優先順位をどのように決定したか。あなたが特に重要と考え、工夫した点を中心に、具体的に述べよ。

**設問ウ** 設問イで述べた計画の策定に当たって工夫した点について、あなたはどのように評価しているか。また、今後改善したい点は何か。それぞれ簡潔に述べよ。

## 問2 競争力強化のための情報システム化案の作成について

昨今、競争力強化のために IT を活用して、ビジネススピードの向上、新たな顧客サービスの提供、業務コストの大幅な削減などへの取組が行われるようになっている。

システムアナリストは、競争力強化のために、次のような情報システム化案を作成する必要がある。

- ・顧客の待ち時間を大幅に短縮するために、複数部門にまたがって数週間かかっている契約プロセスを、データを一元管理するシステムによって契約窓口で即時に完了できる契約プロセスに変更する。
- ・顧客サービスの向上及び営業の業務効率向上のために、営業担当者が見積書を作成して顧客に提出するプロセスを、インターネットを利用して顧客が条件を入力すると、売値を即時に算出できるプロセスに変更する。
- ・売れ残りや品切れを減らすために、人の経験と勘による発注プロセスを、POS システムを有効に活用して適正量を発注するプロセスに変更する。

システムアナリストは、このような情報システム化案の作成に当たって、IT を活用した業務プロセスを再設計する必要がある。業務プロセスの再設計においては、顧客から見た価値を高めるという視点で必要業務を抽出して付加価値を生まない業務を見直すこと、複雑な判断や専門的な作業の一部を IT に置き換え業務を高度化すること、などの工夫が重要である。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

**設問ア** あなたが作成に携わった競争力強化のための情報システム化案について、背景となった事業の競争状況及び事業の課題を、800字以内で述べよ。

**設問イ** 設問アで述べた事業について、どのような競争力強化のための情報システム化案を作成したか。その作成に当たり、IT を活用した業務プロセスの再設計において、あなたが特に重要と考え、工夫した点とともに、具体的に述べよ。

**設問ウ** 設問イで述べた情報システム化案の作成について、あなたはどのように評価しているか。今後の課題とともに簡潔に述べよ。

### 問3 業務統合におけるシステム化計画の策定について

近年、部門ごとに実施されていた受注業務の集中，グループ企業全体での共同購買，人事や経理のシェアードサービスなどの業務統合が増えている。

このような業務統合において，経営層や企画部門などからは，業務効率向上の目標として，業務処理日数，サービス開始時期などが提示される。システムアナリストは，それらの業務統合の目標達成に向けてシステム化計画を策定する。

業務統合におけるシステム化計画の策定では，統合後の新たな業務プロセスとシステムの全体像，新規開発や部分改修などのシステム開発方針，既存システムとの連携方針，マスタスケジュール，体制などを明確にする必要がある。

システム化計画の策定に当たって，システムアナリストは，次のような点に考慮することが重要である。

- ・できる限り例外が発生しない，標準の業務プロセスを設計すること
- ・既存システムの改修の規模を算定し，新規開発の場合の規模と比較した上で，システム開発方針を策定すること
- ・既存システムなど多くのシステムとの連携が必要な場合には，システム連携基盤の導入によって開発期間を短縮し，開発コストを抑えること
- ・システム開発やシステム移行だけでなく，ユーザ教育や業務移行などの手順と体制を明確にし，マスタスケジュールを立案すること

あなたの経験と考えに基づいて，設問ア～ウに従って論述せよ。

**設問ア** あなたが策定に携わった業務統合におけるシステム化計画について，背景となった業務統合の概要及び目標を，800字以内で述べよ。

**設問イ** 設問アの業務統合において，あなたはどのようなシステム化計画を策定したか。あなたが業務統合の目標を達成するために，特に重要と考え，工夫した点を中心に，具体的に述べよ。

**設問ウ** 設問イで述べたシステム化計画について，あなたはどのように評価しているか。また，今後改善したい点は何か。それぞれ簡潔に述べよ。

〔メモ用紙〕

[ メモ用紙 ]

6. 解答に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合は、評価を下げる場合があります。

(1) 問題文の趣旨に沿って解答してください。

(2) 解答欄は、“論述の対象とする構想，計画又はシステムの概要”と“本文”に分かれています。“論述の対象とする構想，計画又はシステムの概要”は、2ページの記入方法に従って、全項目について記入してください。

(3) “本文”について、

・設問アは、800字以内で記述してください。

・設問イ，ウは、合わせて 1,600字以上 3,200字以内で記述してください。

(4) 解答は、丁寧な字ではっきりと書いてください。

7. 途中で退室する場合には、手を挙げて監督員に合図し、答案用紙が回収されてから静かに退室してください。

退室可能時間	14:50 ~ 16:00
--------	---------------

8. 問題に関する質問にはお答えできません。文意どおり解釈してください。

9. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。

10. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。

11. 答案用紙は、白紙であっても提出してください。

12. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。

なお、試験問題では、® 及び ™ を明記していません。